

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	実践学習	授 業 方 法	講義
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:御園 行洋 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	学校での行事予定などの告知。学生への個人面談。ビジネス能力検定3級合格へ向けてテキスト・問題集を使い試験日に向けて学習していく。またこの時間帯に現役のプロの声優に来校頂き、業界の話などを伺っていく。
到 達 目 標	ビジネス能力検定3級合格。円滑な学校生活の情報共有の時間。また学生一人一人の進路相談や細かいケアなどを実践していく。
教 科 書	ビジネス能力検定ジョブパス公式テキスト3級
年 間 授 業 計 画	1 オリエンテーション 2 学校生活・業界ルールなどについて 3 個人面談1 4 個人面談2 5 ジョブパス3級対策授業 第1編第1章 6 ジョブパス3級対策授業 第1編第2章 7 ジョブパス3級対策授業 第1編第3章 8 ジョブパス3級対策授業 第1編第4章 9 ジョブパス3級対策授業 第1編第5章 10 ジョブパス3級対策授業 第1編第6章 11 ジョブパス3級 第1編第1～6章練習問題 12 ジョブパス3級 第1編第1～6章練習問題 13 校内オーディション対策 14 個人進路面談 15 ジョブパス3級対策授業 第2編第1章 16 ジョブパス3級対策授業 第2編第2章 17 ジョブパス3級対策授業 第2編第3章 18 ジョブパス3級対策授業 第2編第4章 19 ジョブパス3級対策授業 第2編第5章 20 ジョブパス3級対策授業 第2編第6章 21 ジョブパス3級 第2編第1～6章練習問題 22 ジョブパス3級 第2編第1～6章練習問題 23 校内オーディション対策準備 24 ジョブパス3級 総合問題 25 ジョブパス3級 模擬試験実施 26 ジョブパス3級 模擬試験実施 27 個人進路面談 28 漢字読み書き、個人面談 29 基礎学力に関するまとめテスト 30 プロ声優を招いての現場マナー・体験談
成 績 評 価 方 法	出席率30% テストへの向き合い方や小テスト、期末ペーパーテストでの点数70%を加味して評価する。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	業界研究	授 業 方 法	講義
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:青田 美穂 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	業界のプロ声優、または活躍中の卒業生を招き、声優業界や心構えなどを学ぶ。また学生が持つ業界や現場、演技などに関する質疑応答なども実施する。またプロの作品や過去の卒業公演なども鑑賞し、認識を深める。学園祭準備やコラボレーションの収録などにも充てていく。プロフィール用紙の作成などにも時間を当てる。
到 達 目 標	現役のプロから刺激を受け業界の認識を深めるとともに、授業に取り組む意識を高める場にもする。また学校内部の収録や学園祭の準備などにも活用する。2年次進路に必要なプロフィール用紙の作成をにも取り掛かる。
教 科 書	なし
	1 自己紹介・自己PRづくり① 2 自己紹介・自己PRづくり② 3 声優業界で仕事をするうえでのマナー、心構え① 4 声優業界で仕事をするうえでのマナー、心構え② 5 声優業界で仕事をするうえでのマナー、心構え③ 6 声優業界で仕事をするうえでのマナー、心構え④ 7 声優業界で仕事をするうえでのマナー、心構え⑤ 8 プロ声優を招いて現場で求められる事・心構えを伺う① 9 プロ声優を招いて現場で求められる事・心構えを伺う② 10 企業コラボ ゲーム収録 11 卒業生による学校生活の過ごし方などトークを聞く① 12 卒業生による学校生活の過ごし方などトークを聞く② 13 ライブ活動へ向けての準備など① 14 ライブ活動へ向けての準備など② 15 ボイスサンプルの作り方① 前期課題内容評価 16 ボイスサンプルの作り方② 17 ボイスサンプルの作り方③ 18 ノベルス・シナリオ学科コラボレーション作品進行① 19 ノベルス・シナリオ学科コラボレーション作品進行② 20 アニメ学科コラボレーション作品進行① 21 アニメ学科コラボレーション作品進行② 22 DATフェスタへの準備① 23 DATフェスタへの準備② 24 DATフェスタへの準備③ 25 卒業公演への意識付け① 26 卒業公演への意識付け② 27 宣材写真への取り組み① 28 宣材写真への取り組み② 29 プロフィール用紙作成① 30 プロフィール用紙作成② 後期課題内容評価
成 績 評 価 方 法	自己PR内容、プロフィール用紙提出内容、授業への取り組み、ペーパーテスト内容を70% 出席率=30% 以上を加味して成績評価とする ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	フィジカルエクササイズ	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:糸賀 徹・甲斐 健児 シンコーミュージックよりプロミュージシャン(ヴォーカル担当)としてメジャーデビュー。後に音楽プロダクションにてマネージメントやヴォーカルレッスンを担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	「気力と体力のバランス」が備わっていることが、「仕事」における基本であることは自明の理である。これまで「体力」の部分に関しては、学生の自覚に任せてきたが、その必要性和具体的な向上の方法について、指導していくカリキュラムが「フィジカル」である。 ストレッチと有酸素運動を中心に、心肺機能の向上と身体の可動域の拡張を促していく。
到 達 目 標	声の「仕事」において、それを支えていくのは思考だけではなく、身体も重要な要素であると、自覚することを大前提とし、最終的には自分自身で身体のメンテナンス、トレーニングが出来るようにすることを目標とする。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 フィジカルの必要性を理解する 2 ストレッチのやり方と効果① 3 ストレッチのやり方と効果② 4 有酸素運動の基礎①～ローインパクトでリズムとシンクロ 5 有酸素運動の基礎②～ローインパクトで呼吸を一定にキープ 6 有酸素運動の基礎③～ローインパクトでステップ運動 7 有酸素運動の基礎④～ローインパクトで腹式呼吸にトライ 8 有酸素運動の基礎⑤～ローインパクトで腹式呼吸で軽い発声 9 体幹トレーニング①～自分のバランス感覚を知ろう 10 体幹トレーニング②～関節と筋肉の働きを意識する 11 体幹トレーニング③～体幹を鍛える筋肉トレーニング(前編) 12 体幹トレーニング④～体幹を鍛える筋肉トレーニング(後編) 13 発声に作用する筋肉トレーニング①～腹筋 14 発声に作用する筋肉トレーニング②～腹斜筋 15 発声に作用する筋肉トレーニング③～背筋 16 前期試験～前期のカリキュラムの総復習 17 有酸素運動の応用①～様々なBPMに合わせて動いてみよう 18 有酸素運動の応用②～大きな動き、素早い動きのバリエーションを付ける 19 有酸素運動の応用③～20分ノンストップで動いてみよう 20 有酸素運動の応用④～サーキットトレーニングにトライその1 21 有酸素運動の応用⑤～サーキットトレーニングにトライその2 22 有酸素運動の応用⑥～サーキットトレーニングにトライその3 23 発声との融合①～これまでのトレーニングを発声に活かすには？その1 24 発声との融合②～これまでのトレーニングを発声に活かすには？その2 25 発声との融合③～これまでのトレーニングを発声に活かすには？その3 26 有酸素運動の応用⑥～自分に合った動きを探すその1 27 有酸素運動の応用⑦～自分に合った動きを探すその2 28 有酸素運動の応用⑧～自分に合った動きを探すその3 29 パフォーマンスへの活かし方その1 30 パフォーマンスへの活かし方その2
成 績 評 価 方 法	出席20%・課題提出及び評価点80% ・上記3つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	パントマイム	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:小島屋 万助 デンマーク公演ツアー、バンコクマイムフェスティバル、仁川(韓国)劇場公演など、プロのパントマイミストとして世界各国のイベントに出演。一般社団法人日本パントマイム協会理事。		

■授業科目情報

授 業 内 容	* パントマイムの基礎練習(ドゥクルーシステム) * テクニック練習(かべ、綱引き、風船など) * エチュード(即興練習) * 発表会(生徒のオリジナル作品)
到 達 目 標	パントマイムの技術を習得する。エチュード練習により表現力、発想力を高める。発表会の作品作りを通してパントマイムという身体表現方法を獲得する。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 基礎1 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 2 基礎2 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 3 基礎3 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 4 テクニック1 代表的なテクニック(壁、綱引き、風船、マイムウォークetc)の習熟。 5 テクニック2 代表的なテクニック(壁、綱引き、風船、マイムウォークetc)の習熟。 6 テクニック3 代表的なテクニック(壁、綱引き、風船、マイムウォークetc)の習熟。 7 テクニック4 代表的なテクニック(壁、綱引き、風船、マイムウォークetc)の習熟。 8 テクニック5 代表的なテクニック(壁、綱引き、風船、マイムウォークetc)の習熟。 9 エチュード1 イメージをいかに身体で表現するかをねらった即興練習。 10 エチュード2 イメージをいかに身体で表現するかをねらった即興練習。 11 エチュード3 イメージをいかに身体で表現するかをねらった即興練習。 12 エチュード4 イメージをいかに身体で表現するかをねらった即興練習。 13 エチュード5 イメージをいかに身体で表現するかをねらった即興練習。 14 発表会 学内ステージにおいてオリジナルソロ作品を発表。 15 基礎4 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 16 基礎5 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 17 基礎6 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 18 基礎7 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 19 基礎8 基本メソッドであるドゥクルーシステムを中心に身体に対する意識を高める。 20 テクニック6 より難易度の高いテクニック(空間、時間、人物の入れ替えなど) 21 テクニック7 より難易度の高いテクニック(空間、時間、人物の入れ替えなど) 22 テクニック8 より難易度の高いテクニック(空間、時間、人物の入れ替えなど) 23 テクニック9 より難易度の高いテクニック(空間、時間、人物の入れ替えなど) 24 テクニック10 より難易度の高いテクニック(空間、時間、人物の入れ替えなど) 25 テクニック11 より難易度の高いテクニック(空間、時間、人物の入れ替えなど) 26 応用1 習ったテクニックを使って小作品を作る。 27 応用2 習ったテクニックを使って小作品を作る。 28 応用3 習ったテクニックを使って小作品を作る。 29 発表会 学内ステージにおいてオリジナルアンサンブル作品を発表。 30 1年間の授業のまとめ。
成 績 評 価 方 法	出席率=30% 期末テスト+テクニック小テスト+期末発表会内容=70% * 上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	滑舌(アフレコ)	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:御園 行洋 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	教材を使い、滑舌を中心に呼吸・発声・アクセント・イントネーションなど声優・俳優の基礎を学ぶ。スタジオでの授業なのでマイクを使って声を録音する。プレイバックして自分の声を聞き返し、上達具合や課題を確認していく。
到 達 目 標	プロとして必要な基礎力(滑舌・呼吸・発声・正しいアクセントなど)を身につける。書いてある文字を正しく読んだり台本の内容を深く読み解くことを指導し身に付けさせる。スタジオでのマナーなどをしっかり認知させ、プロの現場に出ても恥ずかしくない学生に育てる。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 イントロダクション 2 声優史 日本語表音文字の性質 外郎売概要 3 オリジナル早口言葉を作ろう 呼吸訓練 4 呼吸・発声訓練 5 呼吸・発声訓練 6 傾聴訓練 7 外郎売発表 8 外郎売発表 9 テキスト「アエイウエオア王物語」 10 テキスト「アエイウエオア王物語」 11 テキスト「アエイウエオア王物語」 12 テキスト「おあや」 13 テキスト「おあや」 14 テキスト「おあや」 15 朗読 16 朗読 17 朗読 18 ナレーション 19 ナレーション 20 ナレーション 21 ドキュメンタリー番組実習 22 ドキュメンタリー番組実習 23 ドキュメンタリー番組実習 24 ドキュメンタリー番組実習 25 ノベルス学科コラボレーション実習 26 ノベルス学科コラボレーション実習 27 ノベルス学科コラボレーション実習 28 ノベルス学科コラボレーション実習 29 ボイスサンプル実習 30 ボイスサンプル実習
成 績 評 価 方 法	出席30%・試験(前期)及び課題提出物(後期)70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	演技演習	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:城内 美登理 芸能プロダクション(株)オスカープロモーション所属。複数の劇団で舞台経験を積みつつ声優、ナレーター、司会業を勤め、後に専門学校など養成機関にて演技指導を担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	発声練習など演技基礎を毎回指導。講師自身も一緒に身体を動かし見本となることで理解を促し不明点はその都度対応します。発表会・学園祭など人前で表現をする機会を多く設定し経験を積ませます。常に全ての生徒に声をかけ交流を持ち、一人一人の特性をみて授業を楽しめるように工夫します。
到 達 目 標	声優として必要な演技力の基本を実習や舞台発表を通し習得し、プロ現場で即戦力になるように指導します。現場の声など「今」業界で求められているものを伝えていき目標や興味を持たせます。他学科とのコラボレーションなど生徒が楽しみにしている授業も企画し、学校や授業の対しての楽しさを持続させます。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 発声基礎練習・柔軟体操・シアターゲーム 2 発声基礎練習・シアターゲーム・演劇台本読み方講座 3 発声基礎練習・シアターゲーム・演劇台本読み方講座(アクセント) 4 発声練習・シアターゲーム・本読み1(前期発表会用脚本) 5 発声練習・シアターゲーム・本読み2 6 本読み3・キャスティング ※以降、発声練習・シアターゲームは毎回実施 7 本読み4・舞台演劇用語講座 8 立ち稽古1 9 立ち稽古2・ヘアメイク講座 10 立ち稽古3・メイク合わせ 11 立ち稽古4・衣装合わせ 12 通し稽古1・音響合わせ 13 通し稽古2・照明合わせ 14 ゲネプロ 15 前期発表会 16 発表会反省会・本読み(文化祭用脚本)・立ち稽古1 17 立ち稽古2・衣装合わせ 18 立ち稽古3・殺陣ダンス稽古 19 通し稽古・音響照明合わせ 20 ゲネプロ 21 文化祭(舞台発表) 22 文化祭反省会・本読み1(後期発表会用脚本) 23 本読み2・キャスティング 24 立ち稽古1 25 立ち稽古2・衣装合わせ 26 通し稽古1・殺陣ダンス稽古 27 通し稽古2・歌唱稽古 28 通し稽古3・音響照明合わせ 29 ゲネプロ 30 後期発表会
成 績 評 価 方 法	①出席率=30点 ②発表会演技力(表現力・発想力・発声・滑舌など)+平常点=70点 ・上記項目を合計し、100点満点での成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学科名	声優学科	年次	1年
授業科目名	ダンス&ステージング	授業方法	実習
年度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:高須 美里 ダンスチーム「ピンズファクトリー」に所属。定期公演や様々なイベント、パーティに出演。 他に東京ディズニーランドのダンサーとしてニューイヤーイベントに10年出演。		

■授業科目情報

授業内容	ストレッチ・筋力トレーニング・ダンス
到達目標	体を使って表現をする事・魅せ方を学んでいく。協調性・作りあげていく楽しさ、大変さを経験していく。
教科書	なし
年間授業計画	1 自己紹介、オリエンテーション 2 アップの仕方 ストレッチ 3 アップの仕方 ストレッチ 4 筋力トレーニング 5 筋力トレーニング 6 リズムコンビネーション 7 リズムコンビネーション 8 リズムコンビネーション 9 基礎ステップ 10 基礎ステップ 11 コンビネーション 12 コンビネーション 13 試験へ向けての振付 14 試験へ向けての振付 15 前期テスト 16 基礎テクニク 17 基礎テクニク 18 基礎テクニク 19 基礎テクニク 20 コンビネーション1 21 コンビネーション2 22 コンビネーション3 23 コンビネーション4 24 コンビネーション5 25 後期試験へ向けての振付 26 後期試験へ向けての振付 27 後期試験へ向けての振付 28 試験へ向けての振付確認 29 試験へ向けての振付確認 30 最終まとめ 31 後期テスト・総評
成績評価方法	①出席率=30% ②試験発表内容+小発表内容+表現力や授業への取り組み=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	殺陣	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 梶 武志 ワタナベエンタテインメント、テアトルアカデミー、劇団ひまわり等でのアクション指導、演技指導のほか、商業演劇でのアクション指導も行う。自身もTV番組へ多数出演。		

■授業科目情報

授 業 内 容	現代殺陣・時代殺陣 声優としての心構えや肉体作り、演技に必要なスキルを実践していく。
到 達 目 標	全員が怪我無く、殺陣が出来るようにする。殺陣としての基本の型など身に着ける。
教 科 書	・無し
年 間 授 業 計 画	1 オリエンテーション 2 現代殺陣の基本その1 殴る、蹴る 3 現代殺陣の基本その2 移動 4 現代殺陣の基本その3 受ける 5 現代殺陣の基本の習得1 6 現代殺陣の基本の習得2 7 現代殺陣の基本習得3 8 息使いについて 9 体使いについて 10 ヒーローアクションの為の実践1 なし割、千鳥 11 ヒーローアクションの為の実践2 シャッター、ボディアッパー 12 ヒーローアクションの為の実践3 芯とは 13 ヒーローアクション実践 多対1 14 ヒーローアクション実践 多対1 15 ヒーローアクション実践テスト 16 時代殺陣 オリエンテーション 17 基本の型の習得 18 基本の型の習得 19 基本の型の習得 20 移動稽古その1 基本 21 なし割・千鳥 22 シャッター・山形 23 移動稽古その2 対人 24 立ち廻り 2対1 25 立ち廻り 3対1 26 殺陣の演技 27 殺陣の演技 28 殺陣の演技 29 基本の型 テスト 30 殺陣実践
成 績 評 価 方 法	出席率＝30％ 演技力・技術力・平常40％ 期末テスト＝30％ ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	エチュード	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:杉山 佳寿子 青ニプロダクション所属。アルプスの少女ハイジのハイジ役の他、多数の有名アニメ作品に出演。現役の声優・俳優として活躍しつつ、大学や専門学校での声優育成に努める。		

■授業科目情報

授 業 内 容	・五感を開発。集中力・持久力をつける。 ・緊張をとる方法が使えるようにする(リラクゼーション) ・楽しい基礎演技
到 達 目 標	・個性の発見 ・演技力を向上させるとともに、演じる楽しさをみつける
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 自己紹介・ガイダンス 2 リラクゼーション実践 3 カップ 4 レモンとアメ 5 サンシャイン 6 鏡(上半身) 7 鏡(全身) 8 オーバーオールセンセーション(シャワー) 9 オーバーオールセンセーション(風) 10 オーバーオールセンセーション(お風呂) 11 置き換えの技術(好きな人) 12 置き換えの技術(嫌いな人) 13 痛み 14 外郎売選手権 15 前期テスト 16 ボール(ゴム) 17 ボール(紙風船) 18 ボール(カラーボール) 19 デイリーアクティビティ(はきそうじ) 20 デイリーアクティビティ(拭き掃除) 21 演技演習実習シーン①②(鎌田敏夫・恋愛会話など) 22 演技演習実習シーン③④(鎌田敏夫・恋愛会話など) 23 演技演習実習シーン⑤⑥(鎌田敏夫・恋愛会話など) 24 絵本を読む① 25 絵本を読む② 26 ラジオドラマ(各務月子「不老川の風に乗って」) 27 ラジオドラマ(キャラクターの声の研究) 28 ラジオドラマ(いろんな役にチャレンジ) 29 ラジオドラマ(仕上げ) 30 後期テスト
成 績 評 価 方 法	①出席率30%、②表現力+テスト内容70% 項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	朗読	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:御園 行洋 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	朗読表現に関する基本的な発声・発音・表現技術の習得。 自分の長所・短所を見つめ、長所をいかに伸ばしていくか、アピールできるのかを考える。
到 達 目 標	朗読表現の基本となる、発声・呼吸の習得。 文章を間違えず、なるべくストレス無く声に出して読める技術の習得。 面接対応として、各個人の一番の笑顔・良い発声での返答ができる様にしていく 事を到達目標とする。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 自己紹介・授業の趣旨説明 腹式呼吸・発声の基礎説明と実践 2 現状の朗読表現確認 腹式呼吸・発声・活舌の基礎説明・実践 3 腹式呼吸・発声・活舌の基礎説明・実践① 4 腹式呼吸・発声・活舌の基礎説明・実践② 5 腹式呼吸・発声・活舌の基礎説明・実践③ 6 腹式呼吸・発声・活舌の基礎説明・実践④ 7 朗読原稿を使い、基本の読み方、日本語の確認① 8 朗読原稿を使い、基本の読み方、日本語の確認② 9 朗読原稿を使い、基本の読み方、日本語の確認③ 10 朗読・ナレーション原稿を使い、感性を生かした朗読実践① 11 朗読・ナレーション原稿を使い、感性を生かした朗読実践② 12 朗読・ナレーション原稿を使い、感性を生かした朗読実践③ 13 前期テスト教材練習① 14 前期テスト教材練習① 15 前期テスト実施(教材朗読 前期総合) 16 朗読表現における腹式呼吸・発声の復習と実践 17 現状の朗読表現確認 腹式呼吸・発声・活舌の基礎説明・実践 18 腹式呼吸の基礎説明・実践 19 " 20 原稿を読み現在の自分の表現を確認する 21 呼吸基礎訓練と、表現中に基礎を取り入れる訓練 22 "(以降、生徒の到達度合いにより原稿を変更しながら授業を進める) 23 " 24 " 25 " 26 " 27 テスト原稿の選定と訓練 28 " 29 試験日 一律、同一原稿を朗読し、評価 30 後期授業の振り返りと、各自の今後の課題について説明
成 績 評 価 方 法	出席率30%・試験結果30%・個人の能力の成長度合い40%をそれぞれ評価し、その合計点 100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	1年
授 業 科 目 名	ヴォイストレーニング1	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:甲斐 健児 (株)レイズインにて作詞家、ヴォイストレーナーとして勤務。後に大学や専門学校にてヴォイストレーナーとして指導を担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	腹式、基本発声、発音(滑舌)など、基本的な表現方法を、各テーマごとに課題曲を提示し、その歌唱を通して、実践的に学んでいく。
到 達 目 標	発声および発音の基礎を、学術的にも技術的にも理解し、応用することで、自分自身の声を楽器としてとらえ、各々の個性を伸ばしながら自由に表現することを目指す。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1「基本理念」 発声の基礎・声の仕組みを学ぶ 2「身体の姿勢」 中心軸の気づき、丹田について学ぶ 3「呼吸法」 腹式呼吸の修得、効能を確認 4 リップロール、タンロールで息の流れを確認 5 間口音“あ”で、自分の声帯の震えを自覚する 6 現在の音域をチェックし、声帯の強度を計る 7 日本語の母音と発音の口の形を確認 8 表情筋の使い方、重要性に気づく 9 母音“お”で、朗々と流れていく息を確認し、ロングトーンを意識する 10 母音“え”で、声のベクトルをコントロールする 11 母音“う”で、動詞の表現を考えてみる 12 舌根を上げずに、のどを開くことを意識する 13 母音“い”で、英詞への対応を学ぶ 14「高音域」 自分の音域を広げるトレーニングを学ぶ 15 楽器としての声の個性に気づく 16 リズムトレーニング ～4分～ 17 リズムトレーニング ～8分～ 18 リズムトレーニング ～16分～ 19 リズムトレーニング ～グルーヴとはなにか～ 20 8分の6拍子 ～ワルツ～ 21 子音、とくに英語の詞に注意してみる 22 のどで切る音に注意する 23 バラードで、詞やメロディーを自覚しながら確実に歌うことを意識する 24 母音、子音のバランス配分を意識する 25 息の吐きすぎによる発音の違いを確認する 26 普遍性を持つ楽曲を学び応用する 27 スキルアップのために① ビブラートの使い方と効能を学ぶ 28 スキルアップのために② ダイナミックスの付け方と効能を学ぶ 29 スキルアップのために③ 歌に表情をつけてみる 30 個性の再確認と歌唱発表
成 績 評 価 方 法	出席点30%+テスト内容および授業内での表現力・授業への取り組み等70%以上を加味して100点満点で評価。 下記に定められた成績評価に準じる。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	声優学科	2年
授 業 科 目 名	実践学習	授 業 方 法	講義	
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間	
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ	後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回	後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:御園 行洋 専任教員			

■授業科目情報

授 業 内 容	学生に対して学校行事などのインフォメーション。個人面談など学校生活、就職・進路などのケア。文化祭など学校行事の話し合いや準備。各授業の内容の補足。各種収録のオーディションや収録。
到 達 目 標	学生全体行事・予定の情報共有。進路就職や学生生活に対するケアを密にする。散発的に発声する収録案件への対応。学校準備への対応。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 オリエンテーション 2 学校行事確認・個人面談1 3 個人面談2 4 個人面談3 5 学生意識調査・進路相談1 6 学生意識調査・進路相談2 7 学生意識調査・進路相談3 8 学内オーディション対策1 9 学内オーディション対策2 10 学内オーディション対策3 11 コラボ・収録オーディション・収録対策 12 コラボ・収録オーディション・収録対策 13 コラボ・収録オーディション・収録 14 コラボ・収録オーディション・収録(予備日) 15 ライブ準備1 16 ライブ準備2 17 ライブ準備3 18 進路相談・学内オーディション対策1 19 進路相談・学内オーディション対策2 20 進路相談・学内オーディション対策3 21 進路相談・学内オーディション対策4 22 声優スキル向上補講1 23 声優スキル向上補講2 24 声優スキル向上補講3 25 声優スキル向上補講4 26 一般就職者向け集中講座・面談1 27 一般就職者向け集中講座・面談2 28 漢字読み書き、個人面談 29 基礎学力に関するまとめテスト 30 プロ声優を招いての現場マナー・体験談
成 績 評 価 方 法	出席30%+テスト、授業への取り組み含み70%を加味して100点にて評価する ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	声優学科	2年
授 業 科 目 名	業界研究	授 業 方 法	講義	
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間	
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ	後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回	後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 青田 美穂 専任教員			

■授業科目情報

授 業 内 容	2年次に入り、進路先候補のプロダクション・劇団等の関係者を学校に招き、その特色やワークショップを実施頂く事を中心に進めていく。11月には学内オーディションを開催し進路決定の機会を設ける。オーディション後には一人一人ヒヤリングを行い、希望プロダクションへ入れるように指導する。そのほか、学内コラボの収録にも充てる。
到 達 目 標	あらゆる特色を持ったプロダクションに話を伺い、自分の進路・未来の視野を広げてもらう。疑問があれば個別に質問などで解決し、業界の内情について知識を深めていく。11月には学内オーディション開催し、各自の進路を決める機会を設ける。その他、学内コラボレーションの収録に取り組み、質の良いコラボ作品を完成させる。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	【5月～7月説明会企業一覧】(予定)11月には学内オーディションを開催 1 株式会社 スーパーエキセントリックシアター 2 C&Oプロダクション 3 株式会社 レオパードスチール 4 JTBネクストクリエイション 5 アクセント付属養成所シャイン 6 株式会社 プロダクション・エース 7 エコー俳優声優アカデミー 8 株式会社宝映テレビプロダクション 9 株式会社 ゆーりんプロ 10 株式会社IAM 11 株式会社 アニモプロデュース 12 プロースト付属養成所チアーズ 13 株式会社 SUPRER EGG 14 有限会社 ケッケコーポレーション 15 アプトプロ付属養成所 16 マウスプロモーション 17 株式会社 サンミュージックアカデミー 18 ZVISION 株式会社 19 株式会社 ケンユウオフィス トークバック 20 有限会社 プロダクション東京ドラマハウス 21 株式会社 パワーライズ 22 プロフィール用紙指導① 23 プロフィール用紙指導② 24 進路面接・相談① 25 進路面接・相談② 26 進路面接・相談③ 27 進路面接・相談④ 28 企業コラボレーション作品進行(アニメ学科) 29 企業コラボレーション作品進行(ノベルス学科) 30 企業コラボレーション作品進行(ゲーム学科)
成 績 評 価 方 法	授業に対する取り組みやレポート提出状況、内容を加味し、出欠率なども加える。 出席30%+レポート課題など70%として評価 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	オーディション対策	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:清水 麻友美 国立音楽大学を卒業後、テレビCMはじめドキュメンタリーナレーション、番組、イベントMC、TVキャスター、ボイススクールにてタレント育成事業を担当。(株)ヒーローガレッジ所属		

■授業科目情報

授 業 内 容	11月に行われる都内プロダクション関係者を招いての校内オーディション、また外部オーディションに向けて学生一人一人の個性を引き出し、自己PR,自己紹介、挨拶の仕方、お辞儀、笑顔の効用、話のまとめ方コミュニケーション能力アップエチュード 他様々な観点から学んでいく
到 達 目 標	11月に行われる都内プロダクション関係者を招いての校内オーディション、また外部オーディション学生全員合格を目指す！！
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 年間計画、授業への心得 2 挨拶の効用と極意そして自己分析！姿勢の大切さ その1 3 互いを知ろう！インタビュー形式でお互いの理解度を深める！ 4 自己分析シートを使い、現在の自分、なりたい未来への自分へのアプローチ！その1 5 他己分析！君はこんなに素晴らしいシートを用い！自分の良さの再発見へつなげる！ 6 自分の得意技発表！来るオーディションに向けて その1 7 なりたい自分へのアプローチ その2 雑誌を使つてのカラーージュ 8 好感度高い声の出し方！声のメンタルチェックシートを活用！姿勢の大切さ その2 9 表情筋、身体の使い方！ストレッチを用い魅力あるを出しやすくするためのアプローチ！ 10 自己紹介と自己PRの違い！いざ実践！ 11 ネガティブワード、ポジティブワードの使い方！ボキャブラリーアップ大作戦！ 12 ニックネームを作ろう！自分を端的に表現するためにグループディスカッション！ 13 笑顔の効用！メジカラ強化！大作戦！エチュードを用いて！ 14 得意技発表第2弾！表情、声の大きさ、何をどう伝えたいのか、見せ方、見られ方を意識！ 15 校内オーディション直前スペシャル 1・自己PR 16 校内オーディション直前スペシャル 2・自己PR、朗読 17 校内オーディション直前スペシャル 3・自己PR、朗読、衣装合わせ 18 校内オーディション直前スペシャル 4・全通し 19 校内オーディション直前スペシャル 5・全通し、マイナーチェンジ モチベーションアップへ 20 校内オーディション後、反省会 今後へ向けて！ 21 体内時計を覚醒させよう！ 22 瞬間記憶力アップテスト！ 23 呼吸感を極めよう！ 24 ナレーション特講！宮沢賢治の世界 25 言葉の持つ心地よいリズムを体感しよう！詩を用いてアプローチ！ 26 今一度、君はこんなに素晴らしい！シートを用いて、お互いの良さを再確認！ 27 自己分析！卒業を前に1年前の自分と今の自分を比較！今後の課題設定につなげる！ 28 総まとめ・発表 29 総まとめ・発表 30 総まとめ・発表
成 績 評 価 方 法	出席率30% 筆記試験＋授業課題レポート＋授業への取り組み70% ※上記項目を合計して、100点満点の成績評価を致します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学科名	声優学科	年次	声優学科	2年
授業科目名	ダンス&ステージング	授業方法	実習	
年度	2023年度	年間授業時間数	60時間	
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ	後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回	後期 1回
担当教員・略歴	担当:高須 美里 ダンスチーム「ピンズファクトリー」に所属。定期公演や様々なイベント、パーティに出演。 他に東京ディズニーランドのダンサーとしてニューイヤーイベントに10年出演。			

■授業科目情報

授業内容	ストレッチ・筋カトレーニング・ダンス
到達目標	体を使っての表現方法・魅せ方を各自で追求していく。1つのものを皆で協力して作り上げていく過程を身に着けていく。
教科書	なし
年間授業計画	1 アップの仕方 ストレッチ 2 アップの仕方 ストレッチ 3 アップの仕方 ストレッチ 4 筋カトレーニング 5 筋カトレーニング 6 中級レベルのテクニク 7 中級レベルのテクニク 8 中級レベルのテクニク 9 表現のためのコンビネーション 10 表現のためのコンビネーション 11 前期試験へ向けての振付 12 前期試験へ向けての振付 13 前期試験へ向けての振付 14 前期試験へ向けての振付確認 15 前期テスト 16 魅せるコンビネーション 17 魅せるコンビネーション 18 魅せるコンビネーション 19 魅せるコンビネーション 20 卒業公演へ向けてのダンスパート振付 21 卒業公演へ向けてのダンスパート振付 22 卒業公演へ向けてのダンスパート振付 23 卒業公演へ向けてのダンスパート振付 24 ダンスオーディション対策 25 ダンスオーディション対策 26 卒業公演へ向けてのダンスパート確認 27 卒業公演へ向けてのダンスパート確認 28 卒業公演へ向けてのダンスパート確認 29 最終まとめ 30 後期テスト課題練習 31 後期テスト・総評
成績評価方法	①出席率=30% ②試験発表内容+小発表内容+表現力や授業への取り組み=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	卒業公演	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:勝沼 紀義 フューチャー・アベンジャーズのホークアイ、龍が如く7などアニメ・ゲーム作品等多数出演。声優養成所や専門学校にて演技指導を担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	舞台公演の為の実践。台本を軸にアレンジを加える。伝える力を身に着けるための実践。
到 達 目 標	舞台上で生徒全員による公演。協調性を学ばせ、達成感を得る。演技をする上での表現方法の上達。
教 科 書	戯曲「銀河鉄道の夜」(予定)
年 間 授 業 計 画	1 イントロダクション(演技論基礎) 2 テキスト「鍋」発表1回目 3 テキスト「鍋」発表2回目 公演台本配布 4 配役オーディションを兼ねた読み合わせ 5 仮配役での読み合わせ 6 配役決定読み合わせ 7 舞台稽古 8 舞台稽古 9 舞台稽古 10 舞台稽古 11 舞台稽古 12 舞台稽古 13 舞台稽古+衣装制作 14 舞台稽古+衣装制作 15 舞台稽古+衣装制作 16 舞台稽古+衣装制作 17 舞台稽古+衣装制作 18 舞台稽古+衣装制作 19 舞台稽古+ダンス練習 20 舞台稽古+ダンス練習 21 通し稽古 22 通し稽古 23 通し稽古 24 通し稽古 25 通し稽古 26 通し稽古 27 通し稽古 28 卒業公演リハーサル 29 卒業公演本番 30 卒業公演反省
成 績 評 価 方 法	実技試験。 与えた課題内容に関して、表現力、舞台への取り組み、演技力、出欠などをトータルに評価していく。 評価全体を100%としたときに、出席は30%の内訳とする。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が70%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	エチュード	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	勝沼紀義 日本大学藝術学部演劇学科卒。俳優・声優・ナレーター・インプロヴァイザー。 主な出演：アニメ「TIGER&BUNNY」ケイン、「フューチャー・アベンジャーズ」ホークアイ、マジ「ゴルタス」、映画「Dr.HOUSE」フォアマン、ゲーム「KOFシリーズ」ラモン etc.		

■授業科目情報

授 業 内 容	インプロとメソッドの手法を用いて自己の感情解放と相手役及び観客との交流の仕方を学び、よりナラティブでダイナミックな自己表現を学ぶ。
到 達 目 標	自身の魅力やクラスメイトの魅力を発見し、芝居は一人ではできないことを知る。 相手を輝かせる演技とは？作品に貢献するとは？など、プロの演技者としての自覚を得る。
教 科 書	無し
年 間 授 業 計 画	1 「Yes,and」で互いを活かす 2 「Yes,and」で互いを活かす 3 感情と衝動の交流 4 感情と衝動の交流 5 感情と衝動の交流 6 目的の伝達 7 目的の伝達 8 空間描写とノットアドバンス 9 空間描写とノットアドバンス 10 アドバンス 11 アドバンス 12 ステータス研究 13 ステータス研究 14 キャラクター研究 15 キャラクター研究 16 主役と脇役の役割 17 主役と脇役の役割 18 シーン研究 19 シーン研究 20 シーン研究 21 ストーリー研究 22 ストーリー研究 23 ストーリー研究 24 ストーリー研究 25 ショーインプロ研究 26 ショーインプロ研究 27 ショーインプロ研究 28 ショーインプロ研究 29 教室内発表会 30 フィードバック
成 績 評 価 方 法	出席点及び平常点にて総合的に採点。 出席点30点。平常点70点。合計100点を満点とする。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	ヴォイストレーニング2	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年 間 授 業 時 間 数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:名取 友美 コロムビアレコードより9枚のCDを発売。現在(株)アミュレート、(株)イグニス、(株)レイズイン、(株)ボイスファクトリーにてプロ声優のヴォイストレーニングを担当。アニソン歌手ReoNaさんのライブ、レコーディングのバックコーラスを担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	声優に必要な「腹式呼吸、声量、音域、滑舌、声質、音程、リズム感、など」の基礎と「表現、パフォーマンスなど」の応用を幅広くトレーニングしていく。
到 達 目 標	声優はカラダひとつを使って台本や歌詞を表現する職業。頭で台本を理解し、筋肉を使って思った通りの声を出す。プロに必要な頭と筋肉を鍛え、生徒さんが行きたい事務所に行けるようする。「笑顔、挨拶、返事」という、人としての礼儀や常識も教えて行きたい。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 一年間の授業展開を説明 2 呼吸法、滑舌などの基礎トレーニング 3 声量、音域などの基礎トレーニング 4 声質、音感などの基礎トレーニング 5 課題曲1を使って応用トレーニング(以下、基礎は毎授業行う) 6 課題曲2で応用トレーニング 7 課題曲1、2の復習 8 課題曲3 9 課題曲4 10 課題曲3、4の復習 11 課題曲5 12 課題曲6 13 納涼ライブ準備 14 納涼ライブ準備 15 前期テスト 16 学内オーディションに向けて準備 17 学内オーディションに向けて準備 18 課題曲7 19 課題曲8 20 学園祭、クリスマスライブに向けて 21 学園祭、クリスマスライブに向けて 22 魅せるパフォーマンス(各自歌いたい曲を持参) 23 魅せるパフォーマンス(生徒それぞれにアドバイス) 24 魅せるパフォーマンス(自分に合う曲を知る) 25 魅せるパフォーマンス(観客に歌を届けるには) 26 課題曲1～3を復習 27 課題曲4～6を復習 28 課題曲7～8を復習 29 2年次にやった曲の総括 30 後期テスト
成 績 評 価 方 法	「出席率30点+授業中の歌唱とテストで70点=100点」で採点。 各科目の認定基準は成績評価及び出席率を持って認定する。 1. 成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。 (A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) 2. 出席率が75%に満たない科目は原則として認定しない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	映像表現	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当: 安住 啓太郎 俳優として数々のTVドラマに出演後、総合プロダクション「アズウ-AZUL-」を立ち上げ、プレイング・マネージャーとして、所属アーティストのマネジメントや舞台照明、映像編集を手掛ける。		

■授業科目情報

授 業 内 容	【前期】実技を通して、自己紹介など、自撮り動画の撮影に慣れる。現場で使われる用語などを解説。カメラ前での演技を通して、演技の前段階として、自分自身の見え方などを理解する。 【後期】本読みから、リハーサル、テスト、本番といった、実際の現場の流れにそって、単独及び複数名での演技を撮影、レビューしながら、カット割りなども含めた映像現場独特の流れや撮影方法を体験する。
到 達 目 標	【前期】・カメラ前に立つことに慣れる。カメラ前で、自然なパフォーマンスを行えるようにする。 ・動画選考対策も兼ねて、自撮りに慣れる。・現場で使われる用語の意味などを習得する。 【後期】・映像現場での本読みから、リハ、テスト、本番までの流れを理解し、対応できるようになる。 ・カット割撮影でのつながりを意識した芝居ができるようになる。・カメラ前でのかぶりの意識を取得。
教 科 書	無し
年 間 授 業 計 画	1【オリエンテーション】「自己紹介①」(30秒目安)画面越しでの確認とレビュー:全員 2「自己紹介②」 時間内に収めた自己紹介。スマホ自撮撮影。クラス内でレビュー (60秒/人):4名 3「自己紹介②」 時間内に収めた自己紹介。スマホ自撮撮影。クラス内でレビュー (60秒/人):4名 4「自己紹介②」 時間内に収めた自己紹介。スマホ自撮撮影。クラス内でレビュー (60秒/人):4名 5【カメラ前に立つ】 一回転動画で、姿勢や表情をチェック(その場でレビュー):6名 6【カメラ前に立つ】 一回転動画で、姿勢や表情をチェック(その場でレビュー):6名 7【座学】 映像現場での用語や、香盤表の見方など:全員 8「二人芝居」 課題のオリエンテーションと本読み:2名×6組(引き画のみ、カット割りなし) 9「二人芝居」リハ⇒テスト⇒本番:2組(クラス内で撮影)⇒レビュー 10「二人芝居」リハ⇒テスト⇒本番:2組(クラス内で撮影)⇒レビュー 11「二人芝居」リハ⇒テスト⇒本番:2組(クラス内で撮影)⇒レビュー 12【小テスト】 映像現場での用語や、香盤表の見方など:全員 13【夏休み前】「モノログA/B」 課題のオリエンテーション:全員(カメラ1台:カット割りなし) 14「モノログA」 リハ⇒テスト⇒本番:2名(クラス内で撮影)⇒レビュー 15「モノログA」 リハ⇒テスト⇒本番:2名(クラス内で撮影)⇒レビュー 16「モノログA」 リハ⇒テスト⇒本番:2名(クラス内で撮影)⇒レビュー 17「モノログB」 リハ⇒テスト⇒本番:2名(クラス内で撮影)⇒レビュー 18「モノログB」 リハ⇒テスト⇒本番:2名(クラス内で撮影)⇒レビュー 19「モノログB」 リハ⇒テスト⇒本番:2名(クラス内で撮影)⇒レビュー 20「三人芝居」 課題のオリエンテーションと本読み:3名×4組(カメラ2台、カット割りあり) 21「三人芝居」 リハ⇒テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影) 22「三人芝居」 前週のレビュー:1組⇒リハ⇒テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影) 23「三人芝居」 前週のレビュー:1組⇒リハ⇒テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影) 24「三人芝居」 前週のレビュー:1組⇒リハ⇒テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影)⇒次週レビュー 25「六人芝居」 課題のオリエンテーションと本読み:6名×2組(カメラ1台、カット割りなし) 26「六人芝居」 ①回目:ドライリハーサル:2組(撮影なし) 27「六人芝居」 ①回目:テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影、カメラ1台)⇒レビュー 28「六人芝居」 ①回目:テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影、カメラ1台)⇒レビュー 29「六人芝居」 ②回目:ドライ⇒テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影、カメラ1台)⇒レビュー 30「六人芝居」 ②回目:ドライ⇒テスト⇒本番:1組(クラス内で撮影、カメラ1台)⇒レビュー
成 績 評 価 方 法	出席点:30% 課題点:70% ※期末試験は行わず、各課題ごとの出来栄点と授業への参加姿勢を評価し積算します。 ・上記項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	アフレコ演習	授 業 方 法	実習
年 度	2023年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:御園 行洋 専任教員		

■授業科目情報

授 業 内 容	スタジオで収録するすべてのジャンル教材を使った収録の授業。技術面ではマイク前の距離、映像の口パク、マイクワークやスタジオマナー。演技基礎である発声・活舌・呼吸なども強化しつつ、アニメアフレコ・洋画アテレコ・ナレーション・CMなどをいかに魅力的に表現できるかを指導。要所でプロの現場の体験談なども話していく。
到 達 目 標	アニメ、吹き替えやナレーションなどにおいて、画面の中の世界観をいかにリアルに、エンターテインメントとして魅力的に表現できるかをを目指す。プロの声優として恥ずかしくない基礎力・演技力を身に着ける。収録というものに対しての意識を学生レベルからプロのレベルに引き上げる。
年 間 授 業 計 画	1 台本の見方・マイクの立ち方・スタジオ内の座席の座り位置などのレクチャー。 2 アニメアフレコ基礎①(発声・活舌含む) 3 アニメアフレコ基礎②(発声・活舌・講義など) 4 アフレコ実習 アニメ教材① ロパク合わせなどの技術指導込み 5 アフレコ実習 アニメ教材① ロパク合わせなどの技術指導込み 6 アフレコ実習 アニメ教材① 感情面・動きなどを意識 7 アフレコ実習 アニメ教材① 感情面・動きなどを意識 8 アフレコ実習 アニメ教材① まとめ(前期評価 実技テスト) 9 洋画アテレコ実習 ① 原音を聴いての収録ノウハウ・台本の読み方など指導 10 洋画アテレコ実習 ① ロパクやアニメーションとの違いを指導 11 洋画アテレコ実習 ① 感情面・動きなどを意識 12 洋画アテレコ実習 ① 感情面・動きなどを意識 13 洋画アテレコ実習 ① まとめ(前期評価 実技テスト) 14 ナレーション実習 ① ナレーションノウハウ・台本の読み方 15 ナレーション実習 ① ナレーションでの発声・しゃべり 16 ナレーション実習 ① ナレーションでの感情の動き 17 ナレーション実習 ① ナレーションでの感情の動き 18 ナレーション実習 ① まとめ(評価テスト) 19 アフレコ実習 アニメ教材② ①と教材を変え より実践的な演技指導 20 アフレコ実習 アニメ教材② ①と教材を変え より実践的な演技指導 21 アフレコ実習 アニメ教材② ①と教材を変え より実践的な演技指導 22 アフレコ実習 アニメ教材② ①と教材を変え より実践的な演技指導 23 アフレコ実習 アニメ教材② まとめ(後期評価 実技テスト) 24 洋画アテレコ実習 ② ①と教材を変え、より実践的な演技指導 25 洋画アテレコ実習 ② ①と教材を変え、より実践的な演技指導 26 洋画アテレコ実習 ② ①と教材を変え、より実践的な演技指導 27 洋画アテレコ実習 ② ①と教材を変え、より実践的な演技指導 28 洋画アテレコ実習 ② まとめ(後期評価 実技テスト) 29 1年総まとめ① CMなど補填ジャンルの指導・1年の総括 30 1年総まとめ② CMなど補填ジャンルの指導・1年の総括
成 績 評 価 方 法	前期・後期ともに試験を実施 アフレコなどの実技での点数+授業への姿勢、出席を加えた総評価。 評価全体を100%としたときに、出席は30%の内訳とする。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

■科目基本情報

学 科 名	声優学科	年 次	2年
授 業 科 目 名	ヴォーカルレッスン	授 業 方 法	実習
年 度	2023 年度	年間授業時間数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:糸賀 徹 シンコーミュージックよりプロミュージシャン(ヴォーカル担当)としてメジャーデビュー。後に音楽プロダクションにてマネージメントやヴォーカルレッスンを担当。		

■授業科目情報

授 業 内 容	近年、急速に増えた「歌える声優」の需要に応えるべく、基本の発声からステージングまでを1年かけてレクチャーして行く。 自身の「声」や「パフォーマンス」が「商品」とであるという認識への自覚を促すことで、単なるスキルの習得にならないように、生徒との対話も重視しつつ、進行して行く。
到 達 目 標	自分の声やキャラクターを理解した上で、選曲しパフォーマンスすることを最低限の目標とする。 卒業後の「仕事」を意識し、良い意味で「好き／やりたい」だけの価値観からの脱却もこの授業の到達目標の一つとして設定したい。
教 科 書	なし
年 間 授 業 計 画	1 デイリートレーニングのやり方と効果① 2 デイリートレーニングのやり方と効果② 3 ヴォイストレーニングの基礎①～表情筋と発声の関連性を学ぶ 4 ヴォイストレーニングの基礎②～身体の柔軟性と発声の関連性を学ぶ 5 ヴォイストレーニングの基礎③～発声に必要な筋肉について学ぶ 6 なぜ、大きな声が必要なのか？ 7 響く声、響かない声の「差」とは何か？ 8 「表現力」と「歌唱力」の違いとは何か？ 9 自分の歌を「客観的」にチェックする方法を覚える 10 ステージング①～マイクの特性と使い方 11 ステージング②～モニタリングについて 12 ステージング③～オケと声の「フィット感」を知ろう 13 ステージング④～自分のフィールドを把握する 14 ステージング⑤～MCの必要性の理解とステージ構成について 15 前期試験～15分以内でミニライブを自身でプロデュースする(2曲+MC) 16 ヴォイストレーニングの基礎④～「良い声」とは何か？ 17 ヴォイストレーニングの基礎⑤～自分の声の特性と「曲」とのマッチングについて 18 好きな曲を歌ってみよう！～クラスメートの感想をリサーチ 19 声に合っている曲を探そう！～クラスメートの感想をリサーチ 20 オーディション対策①～審査員はココを見ている 21 オーディション対策②～歌唱も含めた自己アピールについて 22 エンタテインメントとは？ 23 ライブを作ってみよう①～ライブとは何か？ 24 ライブを作ってみよう②～セットリストの持つ意味を理解して構成する 25 ライブを作ってみよう③お客様を飽きさせないために 26 「仕事」としてエンタメに関わるために 27 ライブパフォーマンス①～ポイント(見せ場)を作る 28 ライブパフォーマンス②～価値のあるパフォーマンスとは？ 29 ライブパフォーマンス③～自分に合ったパフォーマンスを構築してみよう 30 後期試験～20分以内でミニライブを自身でプロデュースする(自由構成)
成 績 評 価 方 法	①出席率=30% ②試験内容+ライブへの取り組み+ステージング力=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	